

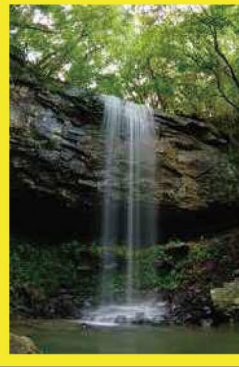
地図中の表記説明
トイレ



大宮地の名所

かみかたき
10 神掛けの滝

大宮地浪床地区の裏山山頂（標高150m）にある、幅15m、高さ15mの島内随一の大滝です。滝の岸壁は数10m浸食され、そこには不動明王が祀られています。集落入り口から約700mの距離があり、登山道は幅1m位で勾配がきつく、徒歩で片道約30分を要します。滝登山口付近には駐車場と案内所が整備されています。



10 神掛けの滝



9 大宮地川
天草島内でも上位に属する大きな川で大宮地深谷に沿って流れています。

9 大宮地川



うなぎ



川カニ



アユ



5 大宮地川の飛石

大宮地川の中村地区に大きな飛石が行儀よく並び、川岸に記念碑が建てられています。昔は、本渡に通じる唯一の道路となっていたようです。

5 大宮地川の飛石



2 シロウオ漁 P14

体長5cmほどのハゼ科の透明な小魚。2月～3月にかけて、産卵の時期に海から川をさかのぼる「春の訪れを告げる魚」。

2 シロウオ漁



1 宮地橋

今の橋は、昭和43年に落成。延長82mで新和町の陸の玄関口。

1 宮地橋



2 シロウオ漁 青のり



12 大宮地浄水場

新和町内ほぼ全域の上水道水をまかなえます。平成11年に完成。



11 大宮地川発電所

大正11年10月に運用開始された水力発電所。現在は九州電力大宮地川発電所として稼働中。出力は130kw。



茶摘み

4・5月が最盛期。清水製茶は、釜炒り玉緑茶の部で農林水産大臣賞を受賞しています。



ごりんのとう
6 五輪塔

大宮地高見地区に五輪塔群があります。卸堂の境内に13基、そこから離れたところに11基、合計24基の五輪塔があります。これは鎌倉時代、天草氏の一族で、志岐氏と一時争った宮路氏ゆかりのものであるといわれています。

8 大宮地天満宮

延喜3年(903年)菅原道真公が死去されて、いつの頃からか時の人々が公の徳望を敬慕し、この地に祠を建て香花を供えたのが、この天満宮の始まりです。社殿横には樹齢約400年にホルトの木があります。

8 大宮地天満宮

▲平家城山

大宮地と小宮地の境界に帯状に延びる標高300mの山で平家城と呼ばれています。



れいしんあん
7 霊峯庵

大宮地の中央に位置し、曹洞宗栄栄寺の寺。明治24年に再築された天草八十八箇所四十一番札所として大宮地地区民の菩提寺とされていました。



大楠の木



4 大宮地八幡宮

大宮地八幡宮は寛永8年(1631年)以前に鎮座された神社です。社殿横には樹齢400年の大楠の木があります。毎年10月の第3日曜日頃の大祭には3基の神輿を奉じ、神幸行列・鳥毛振り・獅子舞の奉納があります。



獅子舞



鳥毛振り